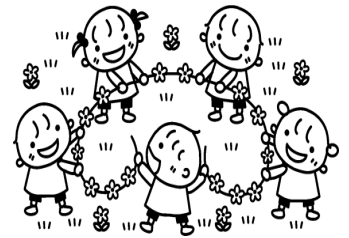




しょき

ぜんくしろだより



全釧路教職員組合・書記古川和美 2021/5/17

‘21年度 NO4

学生応援プロジェクト・

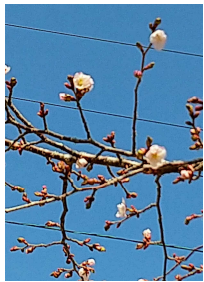
桜の花も咲きました。つつじも、事務所の君子蘭も咲いています。ウキウキワクワクするはずなのですが、コロナウィルス感染拡大が続いています。

去年は学校も一斉休校になり、仕事も減ったり、失ったりと多くの国民が生活に困り、今尚、明日の食料に頭を悩ませている人もいます。



今年も咲きました!!事務所の君子蘭!!

そんな中、4月25日(日曜日)親の仕送りが



減った、バイトが減ったなどの学生を応援するために「学生応援プロジェクト」が開かれました。釧労連(釧路地区労働組合総連合)に加盟する全釧路も高教組も団体として実行委員会に加わり、物資応援、募金そしてボランティアに参加しました。たくさんの学生さんの喜びの声に触れ、私たちも元気を貰いました。ご協力していただいた皆さんお疲れ様でした。これからもプロジェクトは続きますので応援よろしくお願ひします。(裏面に事務局通信を載せました。ご覧ください)

新人看護師のパワハラ自死・労災不支給裁判



この裁判も3年目を迎えました。支援者の皆さんの粘り強い働きかけによってとうとう証人尋問が行われることになりました。

2021年8月23日(月曜日午前・午後)、24日(火曜日午前) 釧路地方裁判所にて行われます。裁判が開かれるたび、支援者もどんどん増えています。被告側(国)、原告側の両方からの尋問が行われる予定です。

関わっている医師、看護師も証言台に立つ予定です。

” 勝つまで闘う ”

絶対に負けられません。

必ず勝利しましょう。

応援よろしくおねがいします。

看護師パワハラ自死労災不支給裁判

2013年4月釧路市日赤病院に勤めていた看護師村山譲さんが自死したのは、職場でのパワハラが原因だったとして、両親が国に労災認定を求めた裁判。2018年7月から裁判がはじまり、今年で3年目、数々の証拠を集めようやく証人尋問にこぎつける。

55名に食料応援 「こんなにいただいていいんですか」



手作メッセージボードでお出迎え

4月25日、釧路市中部地区コミュニティセンターコアがやきにて、釧路公立大学生向け食料無料配布会を行いました。

当日は朝から雪が舞う、4月としては寒い一日となりましたが、午後1時の開始時刻には学生が自転車で会場に集まりました。

開始から30分経過するころには30名以上が駆けつけ、密を避けるため、会場には時間ごとに人数制限をし、検温と手指消毒を徹底、十分な換気を行って学生を迎え入れました。

参加した学生からは「こんなに種類があるとは思いませんでした。」「こんなにたくさん



両手いっぱいにもつ学生

米や野菜 釧大生食べて 全建総連など食料無料配布



新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、食料不足に悩む学生を支援するため、全建総連など食料無料配布会を開催しました。当日は朝から雪が舞う、4月としては寒い一日となりましたが、午後1時の開始時刻には学生が自転車で会場に集まりました。

道庁健康増進センター	〒0120-001-001 (24時間)
釧路保健所	〒0154-05-6811
釧路保健所	〒0153-23-5161
市立中央病院	〒0150-72-2100
札幌市立中央病院	〒060-0805
旭川市立中央病院	〒070-0001
網走市立中央病院	〒095-0001
紋別市立中央病院	〒091-0001
室蘭市立中央病院	〒043-0001
苫小牧市立中央病院	〒057-0001
千歳市立中央病院	〒060-0001
札幌市立中央病院	〒060-0001
旭川市立中央病院	〒070-0001
網走市立中央病院	〒095-0001
紋別市立中央病院	〒091-0001
室蘭市立中央病院	〒043-0001
苫小牧市立中央病院	〒057-0001
千歳市立中央病院	〒060-0001
札幌市立中央病院	〒060-0001

4月26日、北海道新聞と釧路新聞の朝刊で報道されました。写真は北海道

の食材をいただいているんですか？」など学生から感激の言葉が飛び交います。事務局団体を通じて多くの支援者から様々な種類の応援物資が寄せられ、その種類の多さに自然と学生たちにも笑顔が溢れます。自転車に参加した男子学生は、前カゴに食材、左右のハンドルにトイレットペーパーとティッシュペーパーを掛け、見送った実行委員から「転ばないように気をつけて帰ってね！またやるから来てね」の言葉に「本当にありがとうございます」

と深々と頭を下げて帰る学生の姿がとても印象的でした。ある学生からは、平日のシフトが減らされ、日曜のアルバイトを休むわけにいかず、来場できなくて残念がっていた仲間がいましたと現実を話してくれました。

今後、5月下旬頃に教育大学の学生向けに応援プロジェクトを行うことが決定しています。新型コロナウイルスが収束するまで継続していきますので今後ともご協力をお願いいたします。